

質問回答

2018年8月13日

「ケニア国東部アフリカ地域における貿易円滑化及び国境管理能力向上プロジェクト」

(公示日:2018年8月1日/公示番号:180238)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P7 第9 プロポーザルの評価 1 プロポーザルの評価基準	評価対象となっている2名の予定人月数は7.25M/Mとされていますが、業務全体のバランスを考えると少ないのではないかと考えますが、7.25M/Mでいいか確認をさせていただければと思います。	お詫びの上、以下の通り訂正します。 評価対象業務従事者のMM:13.75MM
2	P15 5. 実施方針及び留意事項 (1)プロジェクト概要と本業務の役割	通関所要時間調査については対象 OSBP の進捗により実施できる回数が変わることが予想され、業務実施の中で協議しながら実施回数を定めることになると考えますが、プロポーザル作成時には見積りに5回の再委託調査(エンドライン調査3か所とベースライン2か所)を含めるということではよろしいでしょうか？	ご提案のとおりエンドライン調査3か所、ベースライン調査2か所の想定でご検討ください。
3	P23 6. 現地再委託 (1) 通関所要時間調査	ベースライン調査については業務を通じて選定される OSBP の運営状況(手続き場所が離れているか、24時間運営か等)により必要なコストが変わってくると考えられます。適切な見積評価のため、本経費は別見積をご検討いただけませんか。	ご指摘のとおり対象 OSBP により若干の変更が生じる可能性はございますが、現時点ではナマンガ OSBP およびルスモ OSBP と同様の条件として見積もり(本見積りに含める)を作成ください。
4	P23 6. 現地再委託 (2) 現地協議促進・合意形成	現地協議に関しても、選定される OSBP の場所や状況により、規模や頻度が変わってきます。適切な見積評価のため、本経費も別見積させていただくか、貴機構の想定する現地協議人	想定する現地協議は以下のとおりとなります。 現地協議人数 18名程度、日数は4日滞在、四半期に一度程度を想定。

		数、日数、頻度などを指定頂き本見積とし、業務開始後に状況に即した予算の変更を行ってはいかがでしょうか。	
5	業務指示書 21 ページ	「(2)技術協力作成資料等 コンサルタントが直接作成する以下の資料を提出する。なお、提出に当たっては、それぞれの完成時期に応じ該当フェーズの業務完了報告書に添付して提出することとする。」とありますが、本業務はフェーズ分けされていません。『業務完了報告書』を『業務進捗報告書』と読み替えてよろしいでしょうか。	記載に誤りがあり、失礼いたしました。以下のとおり修正します。 「コンサルタントが直接作成する以下の資料を提出する。なお、提出に当たっては、それぞれの完成時期に応じ業務進捗報告書に添付して提出することとする。」
6	業務指示書 22 ページ	3. 対象国の便宜供与 C/P 機関からは一部必要経費の負担がなされるということですが、共同国境運営委員会(JBOC)、二国間技術委員会(JTC)等の会議や研修の開催にあたり、C/P 機関の出席者にかかる国内便や日当・宿泊などの費用はどこまで見積に含まれるのでしょうか。	滞在地域外の C/P 機関関係者の費用は見積もりに含んでいただくようお願いします。C/P 側の負担内容としては、4 名以上参加者が出る際の手当て一部(国内移動費)となりますが、3 名程度までは日本側が負担する想定としています。
7			

以上